



パラリンピック 男子 C3
ロード TT 銀メダルの藤田



パラリンピック 女子 B
ロード TT 銀メダルの鹿沼 / 田中

Photo: Yuko SATO



2016 JAPAN CUP	2
2016リオ パラリンピック競技大会	6
2016 希望郷いわて国体自転車競技会	8
2016 ツール・ド・フランス さいたまクリテリウム	11
来年度 全日本選手権大会日程 (予定)	11
第47回 JBCF 全日本トラックチャンピオンシップ	12
第50回 JBCF ロードチャンピオンシップ	13
各大会 日本代表選手団	14
男子エリート・ロードレースランキング	15
今後の大会予定 / 連盟の動き	15
NEWS / 学連 創立80周年 記念祝賀会	16
2016年世界選手権ロードレース 日本代表選手団	16
JKA ハイパフォーマンス ディビジョン設置 記者会見	16
競技大会結果	17
2016世界選手権ロードレース	20



KEIRIN 

この広報誌は、競輪の補助金を受けて作成しました。
<http://ringring-keirin.jp>

無限の夢へ、走りだそう。  競輪の補助事業

RINGRING!
プロジェクト

地方自治体が開催する競輪の売上金の一部は、モノづくり、スポーツ、地域社会への貢献など、さまざまな分野の事業に役立てられています。

くわしくはウェブで 
RINGRING! 検索



クリテリウムは別府史之 2 連覇 / 本大会はキャンonderールのヴィツレツラが制す

クリテリウム 別府のフィニッシュ

キャンonderールのヴィツレツラが 25 回記念大会を制す

1992 年に '90 世界選手権メモリアル大会として第 1 回大会が開催されたジャパンカップも、今回で節目となる第 25 回記念大会を迎えた。

今大会に参戦したのは UCI ワールドチームが 6 チーム、UCI プロフェッショナルコンチネンタルチームが 2 チーム、国内勢を含む UCI コンチネンタルチームが 7 チーム、それに日本ナショナルチームを加えた全 16 チーム 78 名。中でも注目なのはジャパンカップ 6 勝を誇るイタリアの名門チーム、ランプレ・メリダのエースとして参戦の新城幸也であろう。昨年はスローバンクのために最終スプリントで仕掛け切れず 3 位に終わったが、'97 年大会の阿部良之以来 20 年ぶりの日本人優勝の期待がかかる。

昨年並みの好天に恵まれた 10 月 23 日、昨年と同じ 1 周 10.3km のショートコースを 14 周・144.2km で争われるメインレースは、定刻 10 時に宇都宮市長の放つ号砲でスタートした。最初の古賀志林道山頂ポイントは集団での通過となったが、下りでマッティ・プレシエル(キャンonderール・ドラパック)、マルコス・ガルシア(キナンサイクリングチーム)、井上和郎(ブリヂストン・アンカー)、堀孝明(宇都宮ブリツェン)の 4 名が飛び出して、県道(6km)のポイントでメイン集団

に 50 秒の差をつける。地元ブリツェンの堀が加わっていることで、このポイントに新設された観戦エリアからも歓声上がる。メイン集団からはベンジャミン・ヒル(アタッキ・チーム・グスト)と安原大貴(マトリックス・パワータグ)が飛び出し、1 周完了時にその差を 40 秒まで詰めるが、2 周目の古賀志林道の登りで安原は諦めヒルが単独で追いつける形になる。結局ヒルは中坪(8km)のポイントまでの約 6km を、単独で追走して先頭をキャッチした。

2 周を終え先頭 5 名と集団との差は 1 分 57 秒。1 回目の山岳賞は堀が 3 名での争いを制して獲得する。先頭集団は下りで再び 5 名になり、田野(7km)のポイントで集団との差は 2 分 32 秒。集団は UCI ワールドチームのアシスト勢を中心にコントロールされ、先頭集団との差を 2 分 30 秒前後にキープして追走する。6 周目、2 回目の山岳賞争いで先頭のペースが上がり、メイン集団との差が 3 分 30 秒ほどまで広がったが、集団は再び差を 2 分 30 秒ほどに詰めて大きな逃げを許さなかった。

8 周目の古賀志林道で先頭集団からヒルが脱落する。前日のクリテリウムでも逃げた上に、このレースも先頭を単独で追いつけ、二度の山岳賞争いに絡んでいただけに致し方ないだろう。9 周目、3 度目の山岳賞はガルシ

アが単独でアタックして獲得する。この時点で先頭集団との差は変わらず 2 分 30 秒。しかし 9 周完了のフィニッシュラインで 2 分、10 周完了のフィニッシュラインで 1 分 24 秒と、終盤に向けてメイン集団は徐々にその差を詰めていく。11 周目、古賀志林道の登りで井上が先頭集団から脱落。それでも井上は安易に集団に下がることはなく、山頂を先頭から 15 秒遅れて通過。次の周回の古賀志林道で集団に吸収されるまで粘り、最終的に 10 分遅れの 47 位で完走、そして 2 回目の山岳賞を獲得している。3 連覇を含み国体を 4 度制した井上であるが、残念ながら今年限りでの引退を表明している。

12 周目、最後の山岳賞を狙いガルシアとプレツェルがアタックし、ガルシアが 3 回目について獲得する。メイン集団はトレックとランプレ勢を中心に先頭の山岳賞争い以上のペースアップを図り、差を一気に 30 秒ほどにまで詰める。このペースアップについていけない選手は次々と脱落していった。田野(7km)のポイントで先頭 2 名とメイン集団との差は 32 秒。メイン集団は 40 名ほどにまで小さくなり、残り 2 周でいよいよ本格的な争いが始まった。

13 周目に入るとメイン集団は先頭 2 名を吸収し、4 名の選手が古賀志林道でアタックして山頂で集団に 5 秒の差をつける。この逃げは下りで吸収され、県道(6km)のポイントに姿を現

ロードレース 逃げる5人



したときは、35名ほどの選手が2つのグループに分断されていた。だが中坪(8km)の登りで再び一つとなり、30名弱の集団となって13周完了のフィニッシュラインを通過する。13周目のラップタイムは14分29秒(集団に限れば14分21秒)。それまでの周回が16分30秒程度だったから、1周10.3kmで一気に2分のペースアップを図った

ことになり、いかに激しい争いが集団で行なわれていたかがわかる。

古賀志林道最後の登りでアタックを仕掛けたのは、キャンonderール・ドラパックのダヴィデ・ヴィッレラ。下りでも逃げを緩めることなく、後続6名に7秒の差をつけて県道(6km)のポイントに姿を見せる。6名の第2集団に遅れること25秒で、新城を含む

5名の第3集団が続く。ヴィッレラの進撃は止まらず、田野(7km)で差を12秒に広げる。後続6名の集団はオリカ2名、右京2名、ランプレ1名、スカイ1名の布陣で、たまたらクリストファー・ユール・イェンセン(オリカ・バイクエクステンジ)が単独で飛び出す。こうなると後続集団は、実質4名ということになる。

残り1kmを切ると、ヴィッレラの優勝はほぼ確実となった。ゴール前ではペースを落とし、イェンセンに6秒の差をつけてヴィッレラが初優勝。逃げ集団にも1名を送り込んでいたキャンonderールにしてみれば、完全制覇とも言える勝利だろう。3位はゴールスプリントを制したマヌエーレ・モーリ(ランプレ・メリダ)で、優勝した2007年以来の表彰台を決めた。新城は9位に終わったが、2年連続でアジア人最高位となった。「大勢の観客の声援を受けて、来年もぜひこの日本に戻ってきたいと思っています(ヴィッレラ)」

ロードレース ヴィッレラのフィニッシュ



ロードレース表彰式



別府史之、クリテリウム2連覇

今年で7回目の開催となるジャパンカップ・クリテリウムは、ジャパンカップ25回を記念してコースを西に350m延伸した1周2.25km(15周)で開催された。コース延長により観戦エリアが広がり、宇都宮市大通りには過去最高50,000人の大観衆が集まった。

レースは中盤、ジョセフ・ロスコフ(BMCレーシング)とベンジャミン・ヒル(アタッキ・チーム・ゲスト)の逃げを容認したためにややスローペースとなったが、13周目にその逃げを吸収すると一気にペースアップ。ゴールスプリントを別府史之(トレック・セガフリード)が制し、クリテリウムで初の連覇を果たした。このレースを以て引退するファビアン・カンチェラーラ(トレック・セガフリード)の、献身的な走りが印象的なレースとなった。

「優勝できたのはチームメイトのおかげです。完璧なチームワークをお見せすることができました(別府)」(村田 隆宣)



クリテリウム 逃げる2人



クリテリウム 集団をコントロールする TREK



カンチェラーラ引退セレモニー



ホープフルクリテ優勝の根本



日本ナショナルチーム



ガールズケイリン



オープン女子集団



オープン女子優勝の梶原



オープン男子のスタート

【競技結果】

ジャパン・カップ・サイクルロードレース
(2016/10/22-23 栃木・宇都宮)

クリテリウム (33.75km)

1	別府 史之	TFS	43:04
2	ABERASTURI Jon	UKO	43:04
3	MORI Manuele	LAM	43:04
4	PHINNEY Taylor	BMC	43:04
5	BRESCHER Matti	CDT	43:04
6	小野寺 玲 栃木	BLZ	43:04
10	岡本 隼 和歌山	JPN	43:04
45	石上 優大 神奈川	JPN	43:18
49	木村 圭佑 滋賀	JPN	43:18
50	伊藤 雅和 愛知	JPN	43:18
56	中根 英登 愛知	JPN	43:33

ジャパンカップ (144.2km)

1	VILLELLA Davide	CDT	3:46:43
2	JUUL JENSEN Christopher	OBE	3:46:49
3	POWER Robert	OBE	3:46:57
4	MORI Manuele	LAM	3:46:57
5	PUJOL MUNOZ Oscar	UKO	3:46:57
6	PETERS Alex	SKY	3:46:57
9	新城 幸也	JPCA LAM	3:47:26
29	中根 英登 愛知	JPN	3:50:26
31	石上 優大 神奈川	JPN	3:50:37
48	岡本 隼 和歌山	JPN	3:56:43
49	伊藤 雅和 愛知	JPN	3:56:43
53	木村 圭佑 滋賀	JPN	3:58:46

オープン女子

1	梶原 悠未	埼玉 筑波大学	56:22
2	吉川 美穂	愛知 ライブガーデン	56:22
3	唐見実世子	茨城 弱虫パダル	56:24
4	坂口 聖香	兵庫 パナソニックL.	56:24
5	西 加南子	千葉 LUMINARIA	56:24
6	金子 広美	三重 伊メ	56:24

オープン男子総合成績

1	岡 篤志	茨城 弱虫パダル	1:52:23
2	徳田 優	鹿児島 鹿屋体育大	1:52:34
3	野本 空	東京 明治大学	1:52:38
4	岸 崇仁	東京 江崎 奈良	1:52:55
5	石原 悠希	千葉 順天堂大学	1:52:57
6	尾形 尚彦	宮城 東北高校	1:52:58

ホープフルクリテリウム (6.75km)

1	根本 雄真	学法石川高校	9:13
2	鷗沼 利久	白河実業高校	9:13
3	安彦 統賀	川越工業高校	9:13
4	原田 玲於	名古屋高校	9:13
5	岩瀬 照	吉田高校	9:13
6	岸田 剛	科学技術高校	9:13

2016 ジャパンカップサイクルロードレース 日本代表選手団

大会名 2016 ジャパンカップサイクルロードレース

大会日程 2016年10月22日～23日

派遣日程 2016年10月21日～23日

開催場所 栃木県・宇都宮市

代表選手団

監督 浅田 顕 (JCF強化コーチ)

コーチ 柿木 孝之 (JCF強化コーチ)

メカニック 高橋 優平 (JCF強化支援スタッフ)

マッサー 井上 良輝 (JCF強化支援スタッフ)

選手 木村 圭佑 (滋賀・シマノレーシングチーム)

伊藤 雅和 (愛知・愛三工業レーシングチーム)

中根 英登 (愛知・愛三工業レーシングチーム)

岡本 隼 (和歌山・日本大学)

石上 優大 (神奈川・EQADS)

リザーブ 徳田 優 (京都・鹿屋体育大学)

2016 リオ パラリンピック競技大会

ロード TT で2個の銀メダル獲得!

2016年9月7日、リオパラリンピックが開幕した。自転車競技は、トラック種目が8日～11日リオオリンピックベロドローム、ロード種目が14日～17日リオデジャネイロ西域のポータルで行われた。日本チームの目標は、全員入賞と金メダル2つの獲得である。

【トラック競技】

10月9日 大会2日目

最初に登場したのは、女子視覚障害タンデムの1kmTT 鹿沼、田中ペア。ベストタイムこそは出せなかったが5位入賞。続いて男子1kmTTに出場した石井雅史(C4)は、1分9秒616(実タイム)で6位入賞。次に3km個人パーシュートに臨んだ藤田征樹(C3)。ベストタイムには及ばず5位入賞。また、男子C2クラスの川本翔大も3km個人パーシュートに出場。パラリンピック初レースの緊張で自己ベスト更新はならなかったが8位入賞。大会初日に全員入賞という、ひとつの目標を達成できた。

男子C4-5の1kmTTは障害の程度が異なるC4、C5クラスを統合して競技を行うため、より障害の重いC4クラスの選手には、実際のタイムに規程の係数(ここでは96.87%)を適用した係数タイムで順位付けを行う。

10月10日 大会3日目

4km個人パーシュートに出場した石井雅史(C4)が8位入賞。

1kmタイムトライアル(男子C1-2-3)は、男子C3クラスの藤田征樹が11位。男子C2の川本は、13位であった。なお優勝した中国のリチャング(C1)は、係数無しの実タイムで世界新の1分11秒937をマークした。

男子C1-3の1kmTTは障害の程度が異なるC1、C2、C3クラスを統合して競技を行うため、より障害の重いC1、C2クラスの選手に実際のタイムに規程の係数(ここではC1選手92.697%、C2選手93.13%)を適用した係数タイムで順位付けを行う。

10月11日 大会4日目

トラック競技最終日。メダル獲得の期待が大きい鹿沼由理恵・田中まいペアが、女子視覚障害タンデム3km

個人パーシュートに出場。タイム3分34秒892で6位に入賞した。

日本チームの最後はチームスプリント(混合C1-5)。川本翔大(C2) 藤田征樹(C3)・石井雅史(C4)のメンバーで挑んだが、先頭離脱時のルール違反により最下位に降格となった。

トラック競技ではイギリスが全17つの決勝種目のうち、8種目で金メダルと圧倒的な強さを見せつけた。2016ロンドンパラリンピックからさらに競技力、選手層がアップしていることが感じられた。また、海外選手が20を超えるパラレコードを更新する中、日本選手は自己ベストを更新した選手が1名もおらず。大舞台でのメンタルの弱さが浮き彫りとなった。

【海外のサイクリング情報】

今回男子視覚障害タンデムの1kmTTで金メダルに輝いたオランダのバングマとムルダーのペアのタイムは、59秒822と1分を切るタイムだった。パイロットであるムルダーは2012年ロンドン五輪のケイリン銅メダリストで、日本の競輪に参戦した事もある選手。ロンドンオリンピック終了後、パラチームのパイロットとして新たな挑戦を続けていた。同じように日本でも、パイロットをやりたいという選手が出てくることを期待したい。

【ロード競技】

10月14日 大会1日目

初日にタイムトライアルが行われ、藤田征樹(C3)と女子視覚障害タンデム鹿沼由理恵・田中まいペアが銀メダルに輝いた。川本翔大(C2)は13位、石井雅史(C4)は11位だった。

ロードタイムトライアルのコースは、オリンピックのロードコースの一部も使った、海岸沿いを走る直線的でフラットなコース設定であった。

15km×2周の30kmで行われた男子C3クラス。藤田征樹は、力強くペダルを踏み続け、39分30秒41で銀メダル獲得。得意のロードタイムトライアルを冷静に走れたことが、メダル獲得につながった。同じく30kmで行われた女子視覚障害タンデム鹿沼由理恵・田中まいペアは、39分32秒92で銀メダルを獲得。最後まで諦めない走りが出来たことが、メダル獲得につながった。

10月16日 大会3日目

男子C1-2-3クラス統合の個人ロードレースに、川本翔大(C2)と藤田征樹(C3)が出場、川本が31位、藤田は13位だった。藤田征樹(C3)にはメダルが期待されたが、序盤の平坦路の集団内で落車が発生。落車は回避したもの後続の選手に接触され、チェーンが落下して遅れた。必死で追走したが、先頭集団に追いつく事は出来ず13位。本格的なロードレース初挑戦となった川本翔大(C2)は31位。

10月17日 大会4日目

男子C4-5クラスの個人ロードレースに、石井雅史(C4)が出場したが、監督の判断により山間部の登りまで走った所で途中棄権とした。日本チーム最後のレースは、女子視覚障害クラス鹿沼由理恵・田中まいペアのロードレース。ロードレースが得意でない2人は、オリンピックのコースにも使われた山間部の周回を含む69kmを10

2016 リオパラリンピック自転車競技

開催場所 ブラジル・リオデジャネイロ

大会日程 2016年9月8日～17日

派遣期間 2016年8月29日～9月22日

代表選手団

監督 権丈 泰巳(JPCF強化スタッフ)

メカニック 齋藤 健吾(JPCF強化スタッフ)

トレーナー 菊地 孝明(JPCF強化スタッフ)

コーチ 柿木 克之(JPCF強化スタッフ)

選手 川本 翔大(MC2大和産業)

藤田 征樹(MC3日立建機)

石井 雅史(MC4 藤沢市みらい創造財団)

鹿沼由理恵(WB 楽天ソシオビジネス)

田中 まい(WB 日本競輪選手会/パイロット)

位で完走した。

この日、C4-5 クラスのレース中にイランのパハマン・ゴルバルネジャド選手が亡くなる事故があった。自転車競技が危険との隣り合わせであることを改めて認識させられた。

総括

目標としていた全員入賞は実現できなかったが、金メダル2つの獲得ができなかった。スタッフも含めメダルを獲得するための貪欲さが不足していたと考えられる。その部分は、メンタルの弱さにもつながってくることになる。今回の経験が2020東京に向けた育成、強化につながるようしっかりとフィードバックして、海外チームの競技力向上のスピードに遅れないようにしていきたい。今後パラサイクリングが自転車競技の普及と発展の役割の一部を担えるようになることが、競技力の向上にもつながると思う。

(監督：権丈泰巳)

【競技結果】

2016 パラリピック競技大会
(2016/9/7-18 ブラジル・リオデジャネイロ)

女子 B 1km タイムトライアル

- 1 THORNHILL S. / SCOTT H. GBR1:06.283
- 2 KLAASSEN L. / DOLMAN H. NED1:07.059
- 3 GALLAGHER J. / JANSSEN M. AUS1:08.171
- 5 鹿沼由理恵 / 田中まい JPN1:11.075

男子 C4-5 1km タイムトライアル

- 1 CUNDY Jody GBR C4 1:02.473
- 2 METELKA Jozef SVK C4 1:04.194
- 3 CABELLO LLAMAS Alfonso ESP C5 1:04.494
- 6 石井 雅史 JPN C4 1:07.437

男子 C2 3km 個人パシュート

- 1 LIANG Guihua CHN 3:44.553
- 2 CHERNOVE Tristen CAN 3:47.412
- 3 ROLFE Louis GBR 3:47.951
- 8 川本 翔大 JPN 4:06.831

男子 C3 3km 個人パシュート

- 1 NICHOLAS David AUS 3:33.028
- 2 BERENYI Joseph USA 3:34.042
- 3 CLIFFORD Eoghan IRL 3:40.201
- 5 藤田 征樹 JPN 3:39.142

男子 C4 4km 個人パシュート

- 1 METELKA Jozef SVK 追抜勝
- 2 BRIDGWOOD Kyle AUS
- 3 DUENAS GOMEZ Diego German COL 4:45.310
- 8 石井 雅史 JPN 4:59.224

男子 C1-3 1km タイムトライアル

- 1 Li Zhangyu CHN C1 1:06.678
- 2 NIJHUIS Arnoud NED C1 1:07.999
- 3 CHERNOVE Tristen CAN C2 1:09.583
- 11 藤田 征樹 JPN C3 1:13.180
- 13 川本 翔大 JPN C2 1:13.802

女子 B 3km 個人パシュート

- 1 TURNHAM L. / HALL C. GBR3:28.050
- 2 FOY E. / THOMPSON L. NZL 3:31.569
- 3 THORNHILL S. / SCOTT H. GBR 追抜勝
- 6 鹿沼由理恵 / 田中まい JPN3:34.892

男子 C1-5 混合 チームパシュート

- 1 Great Britain 48.635
- 2 People's Republic of China 49.914
- 3 Spain 50.664
- 8 日本 藤田征樹・石井雅史・川本翔大

男子 C3 ロードタイムトライアル (30km)

- 1 CLIFFORD Eoghan IRL 38:21.79
- 2 藤田 征樹 JPN 39:30.41
- 3 SAMETZ Michael CAN 39:41.28

女子 B ロードタイムトライアル (30km)

- 1 DUNLEVY K. G. / McCRYSTAL E. IRL 38:59.22
- 2 鹿沼由理恵 / 田中まい JPN39:32.92
- 3 TURNHAM L. / HALL C. GBR39:33.81

男子 C4 ロードタイムトライアル (30km)

- 1 METELKA Jozef SVK 37:52.84
- 2 BRIDGWOOD Kyle AUS 38:23.21
- 3 KURIL Patrik SVK 39:07.55

- 11 石井 雅史 JPN 42:06.80

男子 C2 ロードタイムトライアル (20km)

- 1 CHERNOVE Tristen CAN 27:43.16
- 2 LYNCH Colin IRL 28:02.25
- 3 LIANG Guihua CHN 28:17.77
- 13 川本 翔大 JPN 32:25.97

男子 C1-3 ロードレース (71.1km)

- 1 WARIAS Steffen GER C3 1:49:11
- 2 BOSMANS Kris BEL C3 1:49:11
- 3 ANOBILE Fabio ITA C3 1:49:11
- 13 藤田 征樹 JPN C3 1:51:48
- 31 川本 翔大 JPN C2 2:26:46

女子 B ロードレース (69km)

- 1 PODKOSCIELNA I. / TECLAW A.POL 1:58:02
- 2 DUNLEVY K. G. / McCRYSTAL E. IRL 1:59:01
- 3 FOY E. / THOMPSON L. NZL 1:59:33
- 10 鹿沼由理恵 / 田中まい JPN 2:07:23

男子 C4-5 ロードレース (84km)

- 1 ABRAHAM GEBRU Daniel NED C5 2:13:08
- 2 CHAMAN Lauro Cesar BRA C5 2:13:46
- 3 TARLAO Andrea ITA C5 2:13:46
- 石井 雅史 JPN C4 DNF

MC3 TT 銀メダルの藤田



WB TT 銀メダルの鹿沼 / 田中



2016 希望郷 いわて国体 自転車競技会

福岡県が初代皇后杯を獲得!



成年男子 1kmTT 優勝の一丸

10月5日から9日、岩手県紫波町において、2016 希望郷いわて国体自転車競技会が開催された。トラックレースは5日から8日まで紫波自転車競技場で、ロードレースは9日に紫波町特設ロードコースにおいて行われた。

トラックレースにおいては、スプリント予選、1km タイムトライアル、チームスプリント等で大会新記録が続出する大会となった。

また長年切望されていた女子種目が初めて正式競技として採用された今大会、福岡県が初代皇后杯を獲得、そして天皇杯も獲得した。



男子チームスプリント優勝の鳥取県チーム

男子チームパーシュート優勝の群馬県チーム



女子チームスプリント優勝の福岡県チーム



女子スクラッチ決勝。先頭が優勝の中村



少年男子スプリント決勝。左が優勝の山田



成年男子ケイリン決勝。右端が1位の寺崎



女子ケイリン決勝。先頭が優勝の児玉



少年男子ポイントレース優勝の佐藤



少年男子1kmTT 優勝の治田

少年男子ロードのメイン集団



成年男子ロード優勝の武山



少年男子ロード優勝の大町

【競技結果】

第71回国民体育大会自転車競技
(2016/10/5-9 岩手・紫波)

成年男子スプリント

- 宮本 隼輔 山口 中央大学
- 坂井 洋 栃木 日本大学
- 橋本 瑠偉 佐賀 明治大学

少年男子スプリント

- 山田 諒 岐阜 岐阜第一高校
- 梶原 海斗 福岡 祐誠高校
- 吉元 大生 静岡 静岡北高校

成年男子1kmタイムトライアル

- 一丸 尚伍 大分 太陽の家 1:04.131
- 野上 竜太 岡山 鹿屋体大 1:04.312
- 坂本 紘規 青森 日本大学 1:05.153

少年男子1kmタイムトライアル

- 治田 知也 新潟 吉田高校 1:05.810
- 松本 京太 静岡 静岡北高 1:06.317
- 五味 大征 三重 暁高校 1:07.127

成年男子ケリソ

- 寺崎 浩平 福井 福井県車連
- 黒枝 咲哉 大分 鹿屋体育大学
- 小林 和希 福岡 明治大学

少年男子ケリソ

- 東矢 圭吾 熊本 千原台高校
- 脇本 勇希 福井 科学技術高校
- 福永 大智 大阪 城東工科高校

成年男子スクラッチ(16km)

- 小林 泰正 群馬 日本体育大学

- 青野 将大 香川 法政大学
- 橋本 英也 岐阜 NIPPO RACING

少年男子スクラッチ(10km)

- 吉岡 衛 奈良 奈良北高校
- 根元 雄真 福島 学法石川高校
- 依田 翔大 山梨 甲府工業高校

成年男子ポイントレース(30km)

- 岡本 隼 和歌山 日本大学 24p
- 富尾 大地 鹿児島 鹿屋体育大学 20p
- 渡邊翔太郎 岐阜 朝日大学 19p

少年男子ポイントレース(24km)

- 佐藤 健 熊本 九州学院高校 25p
- 大町 健斗 広島 安芸府中高校 12p
- 奥村 十夢 奈良 榛生昇陽高校 11p

男子チームスプリント

- 鳥取 佐伯・山根^得・山根^慶 1:03.550
- 岩手 藤根・後藤・照井 1:04.009
- 福井 寺崎・岸田・脇本 1:03.831

男子チームタイムトライアル

- 群馬 倉林・小林・篠田・青木 4:25.097
- 大分 一丸・高橋^隆・阿部・高橋^優 4:36.197
- 和歌山 佐々木・橋本・岡本・森口 4:24.482

女子ケリソ

- 児玉 碧衣 福岡 日本競輪選手会
- 中嶋 里美 長野 日本競輪選手会
- 塚越さくら 鹿児島 C.B.KANOYA

女子スクラッチ(10km)

- 中村 愛花 福井 科学技術高校

- 中村 妃智 千葉 日本写真判定
- 上野みなみ 鹿児島 C.B.KANOYA

女子チームスプリント

- 福岡 児玉・大久保 47.294
- 東京 石井・岡本 48.315
- 京都 前田・山本 49.153

成年男子個人ロードレース(130.8km)

- 武山 晃輔 山梨 日本大学 3:17:20.4
- 倉林 巧和 群馬 群馬グリーン 3:17:21.2
- 安田 京介 京都 京都産大 3:17:21.9
- 近谷 涼 富山 三和シャッター 3:17:23.1
- 黒枝 咲哉 大分 鹿屋体大 3:17:24.5
- 阿曾 圭佑 三重 絆 3:17:24.6

少年男子個人ロードレース(104.0km)

- 大町 健斗 広島 安芸府中 2:40:26.6
- 鶴沼 利久 福島 白河実業 2:40:26.9
- 尾形 尚彦 宮城 東北高校 2:40:26.9
- 吉岡 衛 奈良 奈良北高 2:40:32.3
- 小野 寛斗 神奈川 横浜高校 2:40:41.2
- 日野 泰静 愛媛 松山城南 2:41:21.3

天皇杯(男女総合)成績

- 福岡県 72p
- 大分県 70p
- 福井県 68p

皇后杯(女子総合)成績

- 福岡県 42p
- 鹿児島県 37p
- 東京都 36p

2016 ツール・ド・フランス さいたまクリテリウム

世界選 2連覇のサガンが勝利!



世界最高峰の自転車レースであるツール・ド・フランスの名を冠し、フランスと日本の交流イベントでもあるツール・ド・フランスさいたまクリテリウムが、今年も大勢の来場者のなか開催された。今回は2016 ツール個人総合優勝のクリス・フルーム(チーム・スカイ)を始め、ポイント賞のペーター・サガン(ティンコフ)、山岳賞のラファウ・マイカ(ティンコフ)、新人賞のアダム・イエーツ(オリカ・バイク・エクスチェンジ)の4選手がそろって参加。4回目の開催にして初めて4枚のジャージ、ツール4賞が揃い踏みとなった。ツールのオーガナイザー代表

であるジャン・エティエンヌ・アマリ氏の挨拶にもあったように、まさしくツール・ド・フランス第22ステージと呼んでも良いだろう。

クリテリウムメインレースは最終回に逃げを決めたフルーム、サガン、イエーツ、そして初山翔(プリヂストン・アンカー)のスプリント勝負となり、ツールで5年連続ポイント賞受賞、そして2週間前に開催されたドーハ世界選手権ロードレースで2年連続チャンピオンとなったサガンが貫録勝ちを収めた。マイヨ・ジョーヌ、マイヨ・ヴェール、そしてマイヨ・ブランのツール3賞ジャージと共に、沿道の観客の大歓

声を受けて最終周を駆け抜けた日本チャンピオンジャージの初山は、フルームを抑えて2位に入賞した。来年もこのさいたま新都心の地でツールの雰囲気を楽しむことを期待したい。

(村田隆宣)

【競技結果】

2016ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム
(2016/10/29 埼玉・さいたま)

- | | | | |
|---|--------------------|---------|---------|
| 1 | SAGAN Pete | TNK SVK | 1:22:02 |
| 2 | 初山 翔 | BGT JPN | 1:22:02 |
| 3 | FROOME Christopher | SKY GBR | 1:22:02 |
| 4 | YATES Adam | OBE GBR | 1:22:07 |
| 5 | KITTEL Marcel | EQS GER | 1:22:14 |
| 6 | DUMOULIN Samuel | ALM FRA | 1:22:14 |

来年度 全日本選手権大会日程 (予定)

種目	日程	会場
トライアル	2017年 4月29日～30日	長野県・佐久市・ミレニアムパーク
トラック	2017年 5月13日～14日	宮城県・大和町
パラサイクリング・トラック	2017年 5月13日～14日	宮城県・大和町
ロード・タイムトライアル	2017年 6月23日	青森県・階上町
パラサイクリング・ロード	2017年 6月23日	青森県・階上町
ロードレース ME,WE,U23	2017年 6月24日～25日	青森県・階上町
BMX	2017年 7月1日～2日	静岡県・日本CSC
マウンテンバイク	2017年 7月21日～23日	長野県・富士見パノラマ
ロードレース ジュニア	未定	未定
オムニウム/マスターズ	2017年11月18日～19日	静岡県・伊豆ベロドローム
シクロクロス	2017年12月10日	未定
室内自転車競技	2017年12月16日～17日	未定

※予定は変更される場合があります。

第47回 JBCF 全日本トラックチャンピオンシップ

男子チームスプリントで岩井商会が実業団新記録

KEIRIN 00

この大会は競輪の補助金を受けて開催されました



JBCFが行うトラックレースのチャンピオンを決める大会が、今年で47回目を迎えるトラックチャンピオンシップ。伊豆ベロドロームで男子9種目、女子4種目の全13種目が行われた。

岩井商会レーシングが男子チームスプリントで47秒960の実業団新記録を樹立。小坂知子が女子500mタイムトライアル、女子ケイリンの2種目を制覇。男子スプリントでも1位2位と岩井商会レーシングが合計4勝を挙げた。スミタ・エイダイ・パールイズミ・ラパネロも男子4kmチーム・パーシュート、男子4kmインディヴィデュアル・パーシュート、女子スクラッチの計3勝を挙げた。またリオデジャネイロパラリンピックのロード個人TT銀メダリスト藤田征樹(チーム・チェプロ)は、4kmインディヴィデュアル・パーシュートで1位に1秒差に迫る4分51秒815の好タイムで2位となった。

【競技結果】

第47回 JBCF 全日本トラックチャンピオンシップ (2016/10/2 静岡・伊豆ベロドローム)

男子スプリント

- 1 山中 貴雄 岩井商会レーシング
- 2 小谷 実 岩井商会レーシング
- 3 佐藤 航平 Blanche Racing Team

男子1kmタイムトライアル

- 1 河上 陽一 チーム・チェプロ 1:07.255
- 2 奥平 充男 岩井商会レーシング 1:07.415
- 3 小峰 烈 B-SOUL 1:08.038

男子ケイリン

- 1 大村 慶二 Team Logisty Jack
- 2 佐野 伸弥 MINOURA 大垣レーシング
- 3 市川 英昭 湘南愛輪会

男子1-2 3km 個人パーシュート

- 1 武智 光 イキップレーシング 3:53.708

男子4km 個人パーシュート

- 1 山田 大介 パールイズミラパネロ 4:50.404
- 2 藤田 征樹 チーム・チェプロ 4:51.815
- 3 辻本 尚希 パールイズミラパネロ 4:57.132

男子スクラッチ (10km)

- 1 小清水拓也 リオネ・アルマーレ 12:14.780
- 2 平塚 吉光 愛三工業レーシングチーム
- 3 金井 慎次 ガスモ、電気も。静岡ガス

男子ポイントレース (30km)

- 1 高橋 伸成 FIETS GROEN 25p
- 2 辻本 尚希 パールイズミラパネロ 24p
- 3 赤澤 豪将 パールイズミラパネロ 19p

男子チームスプリント

- 1 岩井商会レーシング 47.960
- 2 愛三工業レーシングチーム 50.759
- 3 チーム・チェプロ 50.806

男子4kmチーム・パーシュート

- 1 スミタ・エイダイ・パールイズミ・ラパネロ 4:42.451

女子500mタイムトライアル

- 1 小坂 知子 岩井商会レーシング 38.038

女子ケイリン

- 1 小坂 知子 岩井商会レーシング

女子スクラッチ (2km)

- 1 鈴木 章代 パールイズミラパネロ 2:58.230

女子3km 個人パーシュート

- 1 小沼美由紀 ReadyGoJapan 4:11.821

写真・文：(一社)全日本実業団自転車競技連盟

第50回 JBCF 経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップ

経済産業大臣旗は Team UKYO に

KEIRIN
00
この大会は競輪の補助金を受けて開催されました



全日本実業団自転車競技連盟が主催するJプロツアーの中で最もステータスの高い大会（レースレイティングAAA）がこの経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップ。今年で50回目を迎える大会は、起伏の厳しい輪島市門前町のコースを舞台に行われた。

7周回のレースは、各チームの攻撃でできた小集団から2周目にオスカル・ブジョル（Team UKYO）がアタックし、これにホセ・ピセンテ（マトリックスパワータグ）が合流し2人で逃げ続ける。ラスト2周で先頭はブジョ

ル単独となり、メイン集団はプリチストンアンカーサイクリングチームを中心に追い上げる。最終周回に中根英登（愛三工業レーシングチーム）らが10秒差にまで追い詰めるが、ブジョルは再び加速して独走優勝した。

各チーム上位3名の合計で競われる団体賞もTeam UKYOが昨年に続いて連覇し、経済産業省製造産業局車両室の塩手能景室長から経済産業大臣旗が贈られた。また4位に入りポイントを追加したホセ・ピセンテが、Jプロツアーリーダーをキープした。

また、2周回で行われた女子のFクラスは、1周目の上りで唐見実世子（弱虫ペダルサイクリングチーム）がペースを上げ人数を絞る。さらに坂口聖香（パナソニックレディーズ）と福田咲絵（慶応義塾大学自転車競技部）がペースを上げ、この2人で先頭を形成する。レースは2人の勝負に持ち込まれ、ラスト1kmを切ってから坂口がアタックして優勝した。

写真・文：

（一社）全日本実業団自転車競技連盟

【競技結果】

第50回 JBCF 経済産業大臣旗
ロードチャンピオンシップ

第9回 JBCF 輪島ロードレース
(2016/10/9 石川・輪島)

P1クラス (88.6km)

1	オスカル ブジョル	UKYO	2:27:55
2	ベンジャミン プラテス	UKYO	+ 0:31
3	トマルバ	BS アンカー	
4	ホセ ピセンテ	マトリックス	+ 0:39
5	中根 英登	愛三工業	+ 0:40
6	ロイク デリアック	NEILPRYDE	+ 2:07

Jプロツアー-リーダー

ホセ ピセンテ マトリックスパワータグ

U23リーダー

小野寺 玲 宇都宮ブリッツェン

Fクラス (25.6km)

1	坂口 聖香	パナソニックレディーズ	50:47
2	福田 咲絵	慶応義塾大学	+ 0:04
3	唐見実世子	弱虫ペダル	+ 1:21

Jフェミニツアー-リーダー

唐見実世子 弱虫ペダルサイクリングチーム

Milton International Challenge 日本代表選手団

大会名 Milton International Challenge (UCI Class1)
 大会日程 2016年9月29日～10月1日
 派遣日程 2016年9月26日～10月3日
 開催場所 カナダ・ミルトン
 代表選手団
 スタッフ 飯島 誠 (中距離ヘッドコーチ)
 村田 正洋 (科学スタッフ)
 中山 真臣 (強化支援スタッフ)
 選手 一丸 尚伍 (大分・プリヂストンアンカーサイクリングチーム)
 近谷 涼 (富山・三和シャッター工業/マトリックスパワータグ)

ACCトラックアジアカップ 日本代表選手団

大会名 ACCトラックアジアカップ (UCI Class1)
 大会日程 2016年10月7日～9日
 派遣日程 2016年10月5日～10日
 開催場所 タイ・バンコク
 代表選手団
 スタッフ 飯島 誠 (中距離ヘッドコーチ)
 森 昭雄 (強化支援スタッフ・メカニック)
 奥隅 信幸 (強化支援スタッフ・マッサージ)
 選手 石井 貴子 (JPCA・JPCU 千葉)
 梶原 悠未 (埼玉・筑波大学)

**2016-2017 UCIトラックワールドカップ第1戦
日本代表選手団**

大会名 2016-2017 UCIトラックワールドカップ第1戦
 大会日程 2016年11月4日～6日
 派遣日程 2016年10月30日～11月8日
 開催場所 イギリス・グラスゴー
 代表選手団
 スタッフ 飯島 誠 (中距離ヘッドコーチ)
 宮本 文晴 (強化コーチ)
 森 昭雄 (強化支援スタッフ)
 柳 浩史 (強化支援スタッフ)
 中山 真臣 (強化支援スタッフ)
 村田 正洋 (科学スタッフ)
 内田 彰子 (医科学部会)
 斉藤 健吾 (強化支援スタッフ)
 選手 河端 朋之 (JPCA・JPCU 岡山)
 雨谷 一樹 (JPCA・JPCU 栃木)
 堀 航輝 (香川・鹿屋体育大学)
 一丸 尚伍 (大分・プリヂストンアンカーサイクリングチーム)
 近谷 涼 (富山・三和シャッター工業/マトリックスパワータグ)
 原田 裕成 (岡山・愛三工業レーシングチーム)
 新村 穰 (茨城・CS Slinger)
 石井 貴子 (JPCA・JPCU 千葉)
 前田佳代乃 (京都)
 上野みなみ (鹿児島・CIEL BLEU KANOYA)
 中村 妃智 (千葉・日本体育大学)
 鈴木 奈央 (JPCA・JPCU 静岡)
 梶原 悠未 (埼玉・筑波大学)
 橋本 優弥 (岐阜・鹿屋体育大学)

**2016-2017 UCIトラックワールドカップ第2戦
日本代表選手団**

大会名 2016-2017 UCIトラックワールドカップ第2戦
 大会日程 2016年11月11日～13日
 派遣日程 2016年11月7日～15日
 開催場所 オランダ・アペルドーン
 代表選手団
 スタッフ 飯島 誠 (中距離ヘッドコーチ)
 宮本 文晴 (強化コーチ)
 森 昭雄 (強化支援スタッフ)
 柳 浩史 (強化支援スタッフ)
 中山 真臣 (強化支援スタッフ)
 村田 正洋 (科学スタッフ)
 内田 彰子 (医科学部会)
 斉藤 健吾 (強化支援スタッフ)
 選手 河端 朋之 (JPCA・JPCU 岡山)
 雨谷 一樹 (JPCA・JPCU 栃木)
 堀 航輝 (香川・鹿屋体育大学)
 一丸 尚伍 (大分・プリヂストンアンカーサイクリングチーム)
 近谷 涼 (富山・三和シャッター工業/マトリックスパワータグ)
 原田 裕成 (岡山・愛三工業レーシングチーム)
 新村 穰 (茨城・CS Slinger)
 今村 駿介 (福岡・中央大学)
 石井 貴子 (JPCA・JPCU 千葉)
 前田佳代乃 (京都)
 上野みなみ (鹿児島・CIEL BLEU KANOYA)
 梶原 悠未 (埼玉・筑波大学)

新しい翼で、世界の空へ。

member of **JAPAN AIRLINES**

男子エリート・ロードレースランキング

2016/10/23

順位	名前	所属	合計	ワールド	アジア選	アジア選	TOJ	TOJ	TOJ	TOJ	TOJ	熊野	熊野	熊野	全日本	全日本	北海道	北海道	北海道	全日本	世界選	Japan
				沖繩	TT	ロード	総合	1 St	2 St	7 St	8 St	総合	1 St	3 St	TT	ロード	総合	2 St	3 St	4 St	実業団	ロード
1	新城 幸也	JPCA	149p			70	5			14											20	40
2	増田 成幸	栃木	129p		7		20	3							20	25	40	8	1			5
3	西園 良太	鹿児島	84p				3							30	55							5
4	初山 翔	神奈川	86p	8			3								70				1			5
5	別府 史之	JPCA	43p			40																3
6	木村 圭佑	滋賀	41p										1		40							
7	入部 正太郎	奈良	33p	30							3											
7	石橋 学	青森	33p											3	30							
9	中根 英登	愛知	28p														20		1			5
10	佐野 淳哉	静岡	25p											25								
11	鈴木 龍	宮城	24p	3									1		20							
11	鈴木 謙	栃木	24p											15		3	1					5
13	伊藤 雅和	愛知	18p				3					15										
14	野中 竜馬	広島	15p												15							
15	阿部 高之	栃木	10p											10								
15	平井 栄一	神奈川	10p												10							
15	井上 和郎	福井	10p	10																		
15	吉岡 直哉	京都	10p														10					
19	大久保 陣	鹿児島	7p											7								
20	内間 康平	沖縄	6p								3	3										
20	雨澤 毅明	栃木	6p											1								5
22	畑中 勇介	東京	5p																			5
22	橋 大志	東京	5p											5								
22	土井 雪広	山形	5p												5							
25	石上 優大	神奈川	4p											1								3
26	山下 貴宏	兵庫	3p												3							
26	窪木 一茂	和歌山	3p					3														
26	早川 朋宏	愛知	3p				3															
26	堀 孝明	栃木	3p				3															
30	中村 龍太郎	千葉	1p											1								
30	橋本 英也	岐阜	1p											1								
30	武井 亨介	茨城	1p											1								

今後の大会予定

期日	大会名	種目	場所
11月4日～6日	2016-17 UCIトラックワールドカップ第1戦	TR	イギリス/グラスゴー
11月5日～6日	第22回日韓対抗学生自転車競技大会	TR	群馬県/前橋市
11月6日	第85回全日本自転車競技選手権ロードレース (MJ,MU17+15,WJ+WU17)	RR	島根県 益田/北仙道
11月11日～13日	2016-17 UCIトラックワールドカップ第2戦	TR	オランダ/アペルドールン
11月12日～13日	Coupe du Japon クロスカントリーレース in 深坂自然の森 XCO	MTB	山口県/下関市
11月13日	ツール・おきなわ	RR	沖縄県北部
11月19日～20日	全日本選手権自転車競技大会-オムニウム/マスターズ	TR	静岡/伊豆ベロドローム
11月20日	関西シクロクロス・マキノラウンド	CX	滋賀県/高島市
11月26日	信州シクロクロス・野辺山高原ラウンド 1	CX	長野県/野辺山
11月27日	信州シクロクロス・野辺山高原ラウンド 2	CX	長野県/野辺山
12月2日～4日	UCI世界選手権大会-室内自転車競技	Indoor	ドイツ/シュツットガルト
12月11日	全日本選手権自転車競技大会-シクロクロス	CX	栃木県/宇都宮市
12月17日～18日	全日本選手権自転車競技大会-室内自転車競技	Indoor	大阪
2017年1月28日～29日	UCI世界選手権大会-シクロクロス	CX	ルクセンブルグ/サネム
2月17日～19日	2016-17 UCIトラックワールドカップ第3戦	TR	コロンビア/カリ
2月25日～26日	2016-17 UCIトラックワールドカップ第4戦	TR	アメリカ/ロサンゼルス
3月26日～29日	平成 28 年度全国高等学校選抜自転車競技大会	TR/RR	熊本県/山鹿市・福岡県/久留米市

連盟の動き (9月中旬～10月下旬)

- 9月 8日 ジュニアロード強化合宿 於：沖縄 (～12日)
- 9日 平成 28 年度第 4 回選手強化委員会 於：東京・自転車総合ビル 601 会議室
- 10日 トラック中距離強化合宿 於：静岡・伊豆ベロドローム (～15日)
- 14日 平成 28 年度第 3 回広報部会 於：東京・白金台いきいきプラザ 会議室
- 16日 平成 28 年度第 3 回常務理事会・第 5 回選手強化本部会 於：東京・自転車総合ビル 601 会議室
- 21日 平成 28 年度第 3 回理事会・第 6 回選手強化本部会 於：東京・自転車総合ビル 7 F 会議室
- 10月 3日 平成 28 年度第 4 回理事会 於：東京・自転車総合ビル 601 会議室
- 13日 ジュニアトラック強化合宿 於：静岡・伊豆ベロドローム (～17日)
- 13日 ACC 理事会 於：カタール・ドーハ
- 14日 第 185 回 UCI 総会 於：カタール・ドーハ
- 18日 トラック短距離強化合宿 於：静岡・伊豆ベロドローム (～22日)
- 24日 トラック中距離強化合宿 於：静岡・伊豆ベロドローム (～28日)
- 25日 平成 28 年度第 5 回選手強化委員会 於：東京・自転車総合ビル 602 会議室

NEWS

● UCIトラックレース規則改訂

2016年10月14日にUCIトラックレースの規則が改訂されました。

オムニウムが6種目2日間から4種目1日実施になる等大きく変更があります。

JCFサイト→競技規則→UCI競技規則

【UCI規則第3部(改訂個所抜粋版)】2016年10月14日発効をご参照ください。

● 全国高校総体(インターハイ)における女子自転車競技が正式競技に決定!

平成30年度全国高等学校総合体育大会より実施予定(東海ブロック総体で自転車競技は静岡県で開催予定)

実施種目: ①500mタイムトライアル ②ケイリン ③2km個人パーシュート ④ポイントレース ⑤個人ロードレース

参加人数: 50名

● 平成28年度専門委員会・選手強化委員の変更について

安田光義氏および坂本勉氏の辞任に伴い、新選手強化委員長に中野浩一氏が第4回理事会(H28.10.3開催)にて選任されました。

日本学生自転車競技連盟
創立80周年記念祝賀会

学連創立80周年記念祝賀会が平成28年10月10日に東京都新宿区・京王プラザホテルにて開催された。

祝賀会では功労者表彰も行われるなど関係者約160名が出席し盛大に行われた

2016年世界選手権ロードレース大会
日本代表選手団

大会名 2016年世界選手権ロードレース大会

大会日程 2016年10月10日~16日

派遣日程 2016年10月6日~17日

開催場所 カタール・ドーハ

代表選手団

監督 浅田 顕 (エリート男子担当コーチ)

コーチ 柿木 孝之 (エリート女子、ジュニア男女担当)

メカニック 西 勉 (強化支援スタッフ)

高橋 優平 (強化支援スタッフ)

マッサー 宮島 正典 (強化支援スタッフ)

穴田 悠吾 (強化支援スタッフ)

ドクター 内田 彰子 (強化支援スタッフ)

選手 別府 史之 (チーム・トレック・セガフレッド)

新城 幸也 (ランプレ・メリダ)

與那嶺恵理 (POITOU-CHARENTES.FUTUROSCOPE.86)

吉川 美穂 (Live GARDEN BICI STELLE)

梶原 悠未 (筑波大学)

沢田桂太郎 (宮城・日本大学)

渡邊 歩 (福島・EQADS)

蠣崎 優仁 (静岡・伊豆総合高校)

重満 丈 (沖縄・北中城高校)

細谷 夢菜 (埼玉・浦和工業高校)

下山美寿々 (大坂・大阪教育附属高校)

(公財) JKA ハイパフォーマンス ディビジョン設置 記者会見

公益財団法人JKAは10月31日、紀尾井フォーラムにおいて日本自転車トラック競技(短距離)の強化育成新体制発表の記者会見を行った。新体制では日本競輪学校内にハイパフォーマンスディビジョン(HPD)を設置し、ナショナルチームとも連携しながらHPDに選抜された選手の強化育成と、選手の発掘までを担うことになる。会見ではHPDヘッドコーチ兼ナショナルチーム・スプリントヘッドコーチにブノワ・ヴェトゥ(43・仏=前中国ナショナルチーム・ヘッドスプリントコーチ)氏、HPDアシスタントコーチ兼ナショナルチーム・スプリントアシスタントコーチにジェイソン・ニブレット(33・豪=前オーストラリア自転車競技連盟ジュニア・ワールド・チャンピオンシップ・ヘッドコーチ)氏の就任が発表された。



競技大会結果

大会名、チーム名等については略して記載

第14回アジア室内自転車競技選手権大会 (2016/8/6-7 香港マドドーム)

サイクルサッカー

- 1 村上裕亮・西光拳人 JPN
- 2 Chan Ka Kin Kenny /LoMan Fai HKG
- 3 Dahalan Ziuri /Khairul Azhar MAL

サイクルタイムトライアル男子エリート

- 1 Wong Chin To HKG 171.59
- 2 Lei Fai MAC 106.33
- 3 So Cheuk Kwan HKG 100.46
- 5 中川 凱公 滋賀 プールレイクエンジェル 87.43

サイクルタイムトライアル女子エリート

- 1 Luk Wing Yi HKG 101.90
- 2 So Cheuk Lam HKG 97.17
- 3 近藤 葉月 滋賀 プールレイクエンジェル 82.33
- 4 佐藤 風沙 京都 京都産業大学 80.37

サイクルタイムトライアル女子ジュニア(U15)

- 1 國久結希乃 滋賀 プールレイクエンジェル 52.42
- 2 Lam Cheuk Yu HKG 50.21
- 3 Li Ka Heung HKG 33.82

サイクルタイムトライアル女子ジュニア(U13)

- 1 Wong Sum Yi HKG 53.33
- 2 Ho I Teng MAC 49.60
- 3 Chio Hei Lam MAC 40.36
- 4 笹島 葉花 滋賀 プールレイクエンジェル 38.28

2016年アジア世界選手権大会 (2016/8/31-9/3 イタリヤ・バルドイソレ)

ジュニア20イフ

- 1 PALAU Eloi ESP 8p
- 2 VALLEE Nicolas FAR 8p
- 3 HLAVATY Samuel SVK 17p
- 9 土屋 凌我 長野 岩村田高校 35p
- 泉澤 仁 群馬 DNF

ジュニア26イフ

- 1 VALLEE Nicolas FAR 3p
- 2 ARAQUE Jordi ESP 19p
- 3 CARDONA Noah FAR 20p
- 10 塩崎 太夢 山梨 甲府工業高校 61p

2016マウンテンバイクDHI世界選手権大会 (2016/9/6-11 イタリヤ・バルドイソレ)

男子エリート(2.2km)

- 1 HART Danny GBR 3:32.484
- 2 GREENLAND Laurie GBR 3:35.411
- 3 PAYET Florent FRA 3:37.531
- 59 清水 一輝 愛知 4:08.052
- 73 加藤 将来 愛知 4:21.556
- 94 九島 勇気 神奈川 玄武 5:30.937

男子ジュニア(2.2km)

- 1 ILES Finnley CAN 3:47.405
- 2 MANSON Magnus CAN 3:51.201
- 3 VIGE Gaetan FRA 3:52.015
- 34 泉野 龍雅 愛知 AKI FACT 4:15.639
- 井岡 佑介 愛知 DNS

女子エリート(2.2km)

- 1 ATHERTON Rachel GBR 4:20.187

- 2 NICOLE Myriam FRA 4:23.301
- 3 HANNAH Tracey AUS 4:29.640
- 9 末政 実緒 兵庫 SRAM 4:55.330

CdJ MTB 白馬マウンテンバイク大会 (2016/9/10-11 長野・白馬)

XCO男子エリート(26.4km)

- 1 沢田 時 滋賀 Anchor 1:21:06.29
- 2 平林 安里 長野 Specialized 1:21:54.66
- 3 恩田 祐一 新潟 BH SR 1:23:57.99

XCO男子ジュニア(17.6km)

- 1 上野 蓮 福岡 Kapelmuur59:08.67
- 2 笠井 章生 新潟 アクトア専 1:01:00.98
- 3 江越 昇也 神奈川 ProRide 1:01:35.36

XCO男子U-15(13.2km)

- 1 山口 創平 滋賀 ProRide 43:14.28
- 2 神永 真一 大阪 ProRide 43:27.18
- 3 久保 一真 滋賀 ProRide 46:01.65

XCO男子マスターズ(17.6km)

- 1 大橋 優 奈良 Poppo 1:04:19.27
- 2 小田島貴弘 神奈川 maillot 1:05:28.24
- 3 多田 尚史 東京 KID 1:05:53.53

XCO女子エリート(17.6km)

- 1 小林可奈子 長野 安曇野 1:09:56.56
- 2 橋口 陽子 東京 轍屋 1:17:33.59
- 3 中島 峻歩 三重 WIAWIS 1:20:36.36

XCO女子U-15(8.8km)

- 1 川口うらら 兵庫 Sonic-R. 32:47.86
- 2 中島 悠里 山梨 maillot 38:28.70
- 3 松本 璃奈 長野 Mashun r. 41:30.38

XCO女子マスターズ(13.2km)

- 1 中村 園子 長野 安曇野 1:09:06.88
- 2 辻 瑞穂 神奈川 HeartView 1:10:05.80
- 3 北島 優子 長野 SICK 1:18:41.75

第6回JBCFタイムトライアルチャンピオンシップ (2016/9/11 栃木・渡良瀬遊水地)

P(15.9km)

- 1 MONIER Damien BS アンカー 19:43.486
- 2 西園 良太 鹿児島 BS アンカー 19:50.477
- 3 佐野 淳哉 静岡 マトリックス 19:55.709
- 4 増田 成幸 栃木 ブリッツェン 19:57.689
- 5 阿部 嵩之 栃木 ブリッツェン 20:19.330
- 6 鈴木 讓 栃木 ブリッツェン 20:20.647

F(5.3km)

- 1 坂口 聖香 兵庫 パナニックL. 7:33.135
- 2 唐見実世子 茨城 弱虫ハダール 7:36.049
- 3 針谷千紗子 茨城 LiveGarden 7:48.335
- 4 伊藤 杏菜 愛知 LiveGarden 8:05.483
- 5 DOS SANTOS Sandra Neilpryde 8:15.395
- 6 小沼美由紀 埼玉 ReadyGoJ 8:16.119

室内自転車競技ジャパンカップ 2016 (2016/9/17-18 大阪・梅田)

サイクルサッカー

- 1 RSV Osaka 村上 裕亮・岡嶋 紘次
- 2 RV Gärtringen
- 3 RVC Prechtal

サイクルタイムトライアル男子

- 1 Max Maute RSV Taiflingen 153.38
- 2 Nick Lange RSV Unterweissach 142.73
- 3 中川 凱公 滋賀 プールレイクエンジェル 77.28

サイクルタイムトライアル女子

- 1 Lara Füller RKV Poppenweiler 158.35
- 2 Lena Günther RV Nufingen 145.76
- 3 佐藤 風沙 京都産業大学 80.94

CdJ MTB タイグビルズ白鳥大会 (2016/9/17-18 岐阜・郡上)

DHI男子エリート

- 1 井出川直樹 広島 AKI FACT 3:00.505
- 2 阿藤 寛 大阪 Acciarpone 3:00.977
- 3 九島 勇気 神奈川 玄武 3:02.434

DHI男子U-15

- 1 山田 淳一 愛知 重力技研 3:14.032
- 2 秋元 拓海 福島 PAXCYCLE3:22.212
- 3 井岡 計太 愛知 HottSpin 3:30.094

DHI男子マスターズ

- 1 栗野宏一郎 岐阜 KYB 3:31.135
- 2 望月 克彦 静岡 MARSH 3:33.097
- 3 三山 孝幸 石川 FRS 3:40.075

DHI女子エリート

- 1 末政 実緒 兵庫 SRAM 3:54.139
- 2 吉川千香子 愛知 DKMC 4:31.296
- 3 富田 敬子 奈良 Acciarpone 4:43.467

CdJ MTB 妙高杉ノ原 STAGE (2016/9/23-25 新潟・妙高市)

XCO男子エリート(23.8km)

- 1 沢田 時 滋賀 Anchor 1:26:32.66
- 2 平林 安里 長野 Specialized 1:26:46.21
- 3 平野 星矢 長野 Anchor 1:29:29.01

XCO男子ジュニア(17.0km)

- 1 北林 力 長野 ProRide 1:05:20.19
- 2 江越 昇也 神奈川 ProRide 1:07:37.24
- 3 上野 蓮 福岡 ProRide 1:09:03.71

XCO男子U-15(10.2km)

- 1 山口 創平 滋賀 ProRide 37:36.28
- 2 神永 真一 大阪 ProRide 38:48.73
- 3 石川 紘 愛知 SASSA'S 41:38.48

XCO男子マスターズ(20.4km)

- 1 村田 隆 長野 快レーシング 1:25:56.11
- 2 大橋 優 奈良 Poppo 1:26:29.24
- 3 植川 英治 静岡 tours.net 1:29:04.51

XCO女子エリート(17.0km)

- 1 小林可奈子 長野 安曇野 1:17:57.30
- 2 末政 実緒 兵庫 SRAM 1:19:31.80
- 3 橋口 陽子 東京 轍屋 1:28:55.55

XCO女子ジュニア(13.6km)

- 1 佐藤 寿美 神奈川 MIYATA 1:12:22.03

XCO女子U-15(10.2km)

- 1 川口うらら 兵庫 Sonic-R. 43:28.15
- 2 小林あかり 長野 安曇野 48:04.50

XCO女子マスターズ(13.6km)

- 1 中村 園子 長野 安曇野 1:24:16.72

DHI男子エリート

- 1 九島 勇気 神奈川 玄武 3:53.816
- 2 井本はじめ 千葉 SRAM 3:57.624
- 3 加藤 将来 愛知 AKIFACT 3:58.364

DHI男子U-15

- 1 秋元 拓海 福島 PAXCYCLE4:06.307
- 2 井岡 計太 愛知 HottSpin 4:08.173
- 3 岩脇 健太 千葉 Breeze 4:56.995

DHI 男子マスターズ

- 1 黒川陽二郎 石川 FRS 4:14.368
- 2 望月 克彦 静岡 MARSH 4:20.119
- 3 荒金 知史 大阪 シブドリキョウ 4:21.004

DHI 女子リト

- 1 中川 弘佳 大阪 Lovespo 4:43.648
- 2 富田 敬子 奈良 Acciarpone 4:45.272
- 3 岩崎美智恵 神奈川 かなしな 5:36.330

日本スポーツマスターズ 2016・自転車競技
(2016/9/24-25 秋田・美郷町)

第1部 男子スプリント

- 1 陳 翼南 韓国
- 2 中川 淳 栃木 平山製作所
- 3 酒井 利幸 長野 セイコーエプソン

第1部 男子1km タイムトライアル

- 1 柴田 航 秋田 消防本部 1:12.065
- 2 陳 翼南 韓国 1:12.575
- 3 李 昌在 韓国 1:12.809

第1部 男子ケリツ

- 1 李 昌在 韓国
- 2 朴 鐘賢 韓国
- 3 黄 煥秀 韓国

第1部 男子3km 個人ハーフシュート

- 1 鬼形 博之 群馬 OCi 3:50.719
- 2 今野 勲 宮城 今野鉄工所 3:53.225
- 3 金井 慎次 静岡 静岡ガス 3:54.850

第1・2部 男子ポイントレース

- 1 金井 慎次 静岡 静岡ガス 17p
- 2 高橋 和雄 秋田 後三年鴻声の里 16p
- 3 鬼形 博之 群馬 OCi 15p

第2部 男子スプリント

- 1 亀山 尊仁 神奈川 東燃ゼネラル石油
- 2 佐野 陽三 富山 KATEKYOグループ
- 3 西村 均 島根 ｲｸﾐ村田製作所

第2部 男子1km タイムトライアル

- 1 佐野 陽三 富山 KATEKYO 1:12.370
- 2 西村 均 島根 ｲｸﾐ村田製 1:12.553
- 3 小倉 教之 大分 豊前市役所 1:14.248

第2部 男子ケリツ

- 1 奥津 憲 埼玉 ステラ

- 2 亀山 尊仁 神奈川 東燃ゼネラル石油
- 3 長沢 和幸 埼玉 CCEJP

第2部 男子3km 個人ハーフシュート

- 1 上澤 剛 福島 沢田小学 3:51.496
- 2 松岡 亮 兵庫 松岡クニック 3:55.208
- 3 山口 将道 青森 エスピーエス 3:58.131

第3部 男子スプリント

- 1 市川 英昭 神奈川 富士建設
- 2 加藤 忍 秋田
- 3 水澤 耕一 東京 HOTT

第3部 男子1km タイムトライアル

- 1 水澤 耕一 東京 HOTT 1:11.966
- 2 須藤 実 福島 郡山運送 1:15.650
- 3 宮 弘行 岩手 大迫高・教 1:16.146

第3部 男子ケリツ

- 1 市川 英昭 神奈川 富士建設
- 2 加藤 忍 秋田
- 3 荒上 光亮 福岡 ファンサイクル

第3部 男子3km 個人ハーフシュート

- 1 藤田 晃三 岩手 ブリヂストーン 3:46.926
- 2 渋谷 明 群馬 ヴァダレーシング 3:48.348
- 3 伊藤 博人 秋田 宮越精密 3:48.981

第3・4部 男子ポイントレース

- 1 高橋 伸成 静岡 ススキ 39p
- 2 藤田 晃三 岩手 ブリヂストーンサイクル 17p
- 3 伊藤 博人 秋田 宮越精密 10p

第4部 男子500m タイムトライアル

- 1 古本 清文 富山 古本製作所 36.030
- 2 矢野 賢児 高知 JKA 36.607
- 3 千葉 浩 岩手 東北農政局 36.712

第4部 男子スプリント

- 1 古本 清文 富山 古本製作所
- 2 高橋 文仁 大分 ソーセミコンダクタ
- 3 濱中 康志 兵庫 フロンティア

第4部 男子ケリツ

- 1 濱中 康志 兵庫 フロンティア
- 2 高橋 文仁 大分 ソーセミコンダクタ
- 3 高橋 里志 秋田 観志堂

第4部 男子2km 個人ハーフシュート

- 1 矢野 賢児 高知 JKA 2:26.697
- 2 千葉 浩 岩手 東北農政局 2:34.938

- 3 高橋 秀樹 東京 カオ 2:35.551

第5部 男子500m タイムトライアル

- 1 五味 実 千葉 トライサイクル 38.791
- 2 田中 謙治 山口 周南警察署 39.060
- 3 飯田 義広 東京 39.425

第5部 男子スプリント

- 1 越猪 澄 愛知
- 2 竹田 一郎 大分 JR貨物
- 3 野崎 年男 埼玉 サイクルショップ フラシーホ

第5部 男子2km 個人ハーフシュート

- 1 五味 実 千葉 トライサイクル 2:39.556
- 2 飯田 義広 東京 2:40.126
- 3 田中 謙治 山口 周南警察署 2:41.848

第5部 男子ケリツ

- 1 越猪 澄 愛知
- 2 山田 宏 新潟 五泉市役所
- 3 竹田 一郎 大分 JR貨物

第5・6部 男子ポイントレース

- 1 渡部 佳則 新潟 15p
- 2 遠山 良夫 埼玉 フラシーホ 9p
- 3 大永 徳彦 兵庫 大永商事 6p

第6部 男子500m タイムトライアル

- 1 羽鳥 浩 神奈川 大明建設 39.847
- 2 伊藤 茂 広島 40.081
- 3 高橋 秀樹 静岡 ヤマハ 41.398

第6部 男子スプリント

- 1 豊田 英久 静岡
- 2 若杉 平雄 愛知 自営
- 3 羽鳥 浩 神奈川 大明建設

第6部 男子2km 個人ハーフシュート

- 1 渡辺 正彦 埼玉 アルフォーク 2:40.648
- 2 小田 秀明 静岡 2:43.175
- 3 高橋 秀樹 静岡 ヤマハ 2:45.001

第6部 男子ケリツ

- 1 榎 敏晴 青森 ニトリ
- 2 若杉 平雄 愛知
- 3 村上 友徳 福岡 有我商店

女子500m タイムトライアル

- 1 和地 恵美 神奈川 東京工業大 39.586
- 2 小沼美由紀 埼玉 やまね 41.134
- 3 中塚 祐佳 山口 43.764

今こそ資源の有効利用を

創業114年の歴史

原材料再生のエキスパート

24時間対応の柔軟な受入体制

110⁺
Anniversary since 1902

東港金属

<http://www.tokometal.co.jp/>

女子スプリント

- 濱田 真子 東京
- 金 美定 韓国
- 高瀬 英子 群馬

女子2km個人バースト

- 小沼美由紀 埼玉 やまね 2:47.554
- 和地 恵美 神奈川 東京工大 2:48.273
- 濱田 真子 東京 3:00.978

ACCトラックアジアカップ
(2016/10/7-9 タイ・バンコク)

女子500mタイムトライアル

- 石井 貴子 JPN 37.937
- MOHD ADNAN Farina Shawatil MAS 38.410
- LI Yin Yin HKG 39.397

女子スプリント

- 石井 貴子 JPN
- LI Yin Yin HKG
- MENG Zhao Juan HKG

女子スクラッチ

- YANG Qian Yu HKG
- 梶原 悠未 JPN
- DELIA PRIATNA Ayustina INA

女子ポイントレース

- 梶原 悠未 JPN 51p
- PANG Yao HKG 49p
- GENELEVA Nadezhda KAZ 35p

女子ホムニアム

- 梶原 悠未 JPN 212p
- GENELEVA Nadezhda KAZ 195p
- PANG Yao HKG 188p

女子チームスプリント

- 日本 石井・梶原 47.987
- タイ 49.231
- イラン 50.822

CdJ MTB ISHIKAWA/ 白山一里野温泉
(2016/10/7-9 石川・白山市)

XCO男子エリート(27.60km)

- 沢田 時 滋賀 Anchor 1:29:03.40
- 恩田 祐一 新潟 BH SR 1:30:39.41
- 宮津 旭 埼玉 PAX 1:31:16.46

XCO男子ジュニア(19.30km)

- 江越 昇也 神奈川 ProRide 1:10:13.71
- 北林 力 長野 ProRide 1:12:16.36
- 笠井 章生 新潟 アウトドア専 1:12:16.71

XCO男子ユース(15.15km)

- 山口 創平 滋賀 ProRide 52:59.62
- 神永 真一 大阪 ProRide 53:28.31
- 松本 一成 長野 Mashun 56:06.68

XCO男子マスターズ(19.30km)

- 叶 英樹 福島 Spirit 1:13:42.23
- 植川 英治 静岡 tours 1:14:07.99
- 大橋 優 奈良 Poppo 1:15:20.27

XCO女子エリート(19.30km)

- 小林可奈子 長野 安曇野 1:18:44.18
- 末政 実緒 兵庫 SRAM 1:20:42.70
- 橋口 陽子 東京 轍屋 1:33:48.79

XCO女子ジュニア(15.15km)

- 佐藤 寿美 神奈川 MIYATA 1:16:36.26

XCO女子ユース(11.00km)

- 川口うらら 兵庫 Sonic-R. 44:41.17

XCO女子マスターズ(15.15km)

- 中村 園子 長野 安曇野 1:24:34.00

DHI男子エリート

- 井本はじめ 兵庫 SRAM 3:28.888
- 浅野 善亮 愛知 GIANT 3:38.539
- 井手川直樹 広島 AKI FACT 3:38.557

DHI男子ユース

- 秋元 拓海 福島 PAX 3:43.992
- 山田 淳一 愛知 重力技研 3:47.155
- 井岡 計太 愛知 HottSpin 4:33.781

DHI男子マスターズ

- 黒川陽二郎 石川 FRS 4:05.988
- 三山 孝幸 石川 FRS 4:32.417
- 望月 克彦 静岡 MARSH 4:50.089

DHI女子エリート

- 中川 弘佳 大阪 Lovespo 6:05.697

CdJ MTB 富士見パノラマ
(2016/10/14-16 長野・富士見)

XCO男子エリート(26.28km)

- 沢田 時 滋賀 Anchor 1:23:37.72
- 前田 公平 東京 BiORacer 1:25:17.44
- 平林 安里 長野 Specialized 1:25:24.23

XCO男子ジュニア(17.52km)

- 江越 昇也 神奈川 ProRide 1:00:29.76
- 小林 勇輝 長野 什メ 1:00:38.85
- 穴田 玖舟 北海道 BG8 1:02:18.72

XCO男子ユース(13.14km)

- 山口 創平 滋賀 ProRide 45:12.56
- 神永 真一 大阪 ProRide 45:38.56
- 松本 一成 長野 Mashun 47:08.90

XCO男子マスターズ(17.52km)

- 品川 真寛 神奈川 YouCan 1:00:45.78
- 竹谷 賢二 埼玉 Specialized 1:02:36.19
- 大橋 優 奈良 Poppo 1:05:36.02

XCO女子エリート(17.52km)

- 末政 実緒 兵庫 SRAM 1:09:37.87
- 小林可奈子 長野 安曇野 1:10:48.69
- 真川 好美 愛知 Nipopo 1:17:48.74

XCO女子ユース(8.76km)

- 川口うらら 兵庫 sonic-r. 33:02.80
- 松本 璃奈 長野 Mashun 50:11.84

XCO女子マスターズ(8.76km)

- 中村 園子 長野 安曇野 43:40.27

DHI男子エリート

- 九島 勇気 神奈川 玄武 2:26.296
- 清水 一輝 愛知 Patrol 2:26.518
- 加藤 将来 愛知 AKIFACT 2:29.071

DHI男子ユース

- 秋元 拓海 福島 PAXCYCLE 2:44.427
- 井岡 計太 愛知 HottSpin 2:46.862
- 山田 淳一 愛知 重力技研 2:49.099

DHI男子マスターズ

- 黒川陽二郎 石川 FRS 2:51.847
- 三山 孝幸 石川 FRS 2:53.578
- 山本 晃弘 静岡 ACCEL 2:54.442

DHI女子エリート

- 末政 実緒 兵庫 SRAM 2:54.092
- 中川 弘佳 大阪 Lovespo 3:16.524
- 吉川千香子 愛知 DKMC 3:18.912



エイチ・アイ・エスは

世界に挑み続けるアスリート・チームを

サポートしています。



株式会社 エイチ・アイ・エス 関東法人団体専門店事業部 法人営業グループ 東京スポーツイベントセクション

電話：03-6836-2550 営業時間：平日 10:00~18:30 / 土 10:00~15:30 / 日・祝 休 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-33-8 サウスゲート新宿ビル 1階

<http://www.sports-his.com>

#UCIDoha2016



2016 世界選手権ロードレース

タイムトライアル ＜ジュニア女子＞

10月10日から世界選手権個人タイムトライアルが始まり、最初のレースとなったジュニア女子にはジュニア1年目の下山美寿々が参加した。

タイムトライアルの経験の少ない下山は前半でペースを上げ過ぎてしまう。35℃以上の暑さの中、前半のペースアップで大きくダメージを受け、中盤からの平坦でスピードが上がらない。暑さに苦しみながらゴールした。翌日から3日間調整して、得意とするロードレースに臨む。

＜ジュニア男子＞

今年は男子ジュニアに90名と大人数が参加し、6つのグループに分けて行われた。コースは島を2周走る28.9kmのコース設定で、昨日と同じく暑さとの戦いになることが予想された。日本からは沢田桂太郎と渡邊歩がエントリーした。昼にかけて気温が上がる中で、前半スタートとなった沢田は非常に速いペースで進む。合宿でも良い走りを見せていたので期待できたが、暑さの影響で一気に脚にきて中盤からスピードが全く乗せられない。暑さでフラフラになりながらゴールした。11時過ぎにスタートした渡邊は、前半ペースを上げ過ぎず後半にかけても一定ペースで走り切り62位となった。

ネイションズカップにおけるTTでの圧倒的な走りをそのまま見つけたアメリカのMcNulty Brandonが、後続に大差をつけて優勝した。前日行われたU23TTの中でも3位に入るタイム好タイムであった。

＜エリート女子＞

ジュニア男子が終わった後、午後からの女子エリートTTには40名がエ

ントリー、日本からは與那嶺恵理が参加した。コース、距離ともに午前中のジュニア男子と同じで、40分弱の厳しい暑さの中で、いかにゴールまでパフォーマンスを落とさず走り切れるかが問われるレースとなった。

與那嶺は1周目は好調に飛ばし7.4kmの通過タイムは全体の中でも11位と良い走りを見せていたが、中盤からジワジワと順位を落とし21位でゴールした。

與那嶺と同じ組でスタートした41歳のアメリカ人 Neben Amber がベストタイムを出し、そのまま後半のグループの優勝候補にもタイムを破られることなく優勝した。

ロードレース

＜ジュニア女子＞

ジュニア女子はTTコースと同じ周回コースを5周回する74.5kmを80名の選手で争われた。日本からは下山美寿々と細谷夢菜がエントリーした。



日本チームは下山をエースとして戦うが、集団のスピードが遅い場合には加速が持ち味の細谷にもチャンスがある。どの有力チームもスプリンターを連れてきているため、集団ゴールに狙いを絞って戦うこととした。

スタート直後に集団前方での落車

に下山が巻き込まれ、肩を強打して大きく遅れる。集団には細谷が残るが、



気温が上がる中ボトルをとれない。アメリカが緩くコントロールするが、昨日のU23男子のように一列では進まず、ゴール近くまでそれほどペースが上がらなかったため、細谷にも前に行くチャンスは十分あったが集団前方をキープできない。ゴール前はイタリアの4名がトレインを組み、イタリアのエーススプリンターとして今大会に臨んだELISA BALSAMOが、他国の単騎の強豪スプリンターらを寄せ付けず優勝した。細谷はスプリントで前に



絡むことが出来ず 35 位であった。

<ジュニア男子>

ジュニア男子は女子と同じ周回コースを、ほぼ 9 周する 135.3km で争われた。日本からは沢田桂太郎、蠣崎優仁、渡邊歩、重満丈の 4 名がエントリーした。

ジュニア男子の 4 選手



日本チームゴールスプリントになる場合は沢田をエースとし、中盤からの 10 名ほどの逃げには沢田以外の選手が対応することにした。

レースは 1 周目から複数回落車が起こる。日本チームは落車に引っかかり脚を使うものの難を逃れた。3 周目あたりで沢田が度重なる落車からの復帰に脚を使い、集団から遅れてしまう。

レース中盤、ジュニアネイションズカップにおいて圧倒的な強さを見せているアメリカの McNulty Brandon が攻撃を開始すると、20 名ほどの先頭グループが形成される。予想通りの展開ではあるが、ここに日本チームは誰も入れない。先頭グループは McNulty が強気に牽引してペースが落ちない。逃げには入れているもののドイツ、イタリア、フランスは集団を一つにしたいが、メイン集団は様子見の時間が続き 40 秒から 50 秒のタイム差で進む。日本チームもここは、チームでまとまって追いかけないといけない場面であった。先頭集団では 3 名入ったデンマークが攻撃を開始し、ラスト 10km 弱で EGHOLM JAKOB が抜け出して優勝。メイングループにいた日本勢は、最後までチームでまとまり切れず、蠣崎の 42 位が最高順位であった。

今回の世界選手権はチームで戦えるか否かで勝負が決まるということを、レース前から選手自身も理解していた。しかし中盤の決定的逃げに脚がありながらも入れず、その後まだ集団を一つに戻すチャンスがあっても、ネイションズカップで戦っている他のチームと連携して、組織的に追走すること

ジュニア男子優勝の EGHOLM



ができなかった。ネイションズカップの参戦でチームで身につけてきたものを、一番大事な大会で発揮できなかった。U23 に進む選手、来年ジュニアでもう 1 年走る選手ともに、次の舞台で今回の反省を活かしてもらいたい。

<エリート女子>

女子エリートはドーハ市街をスタートして、昨日のジュニアロードと同じ周回コースを約 7 周してゴールする 134.1km で争われた。日本からは與那嶺恵理、吉川美穂、梶原悠未の 3 名がエントリーした。

スタートと同時に與那嶺がアタックする。1 人となりタイム差は最大 50 秒まで広がる。3 周目あたりで集団が



ジュニアの蠣崎



ジュニアの渡邊



ジュニアの重満



ジュニアの沢田



エリート女子の3人



エリート女子のメイン集団



エリート女子の吉川



エリート女子の梶原



エリート女子の與那嶺

<エリート男子>

例年より2週間遅く中東・西アジアの国、カタールで開催された今年の世界選手権ロードレース。今回各カテゴリーに採用されたドーハ近郊の開発地域に特設された周回コースだけでなく、前半に大規模な外周コースも走ることになる。毎年開催されているツアー・オブ・カタールと同様、平坦な砂漠に吹く風が最もレース展開に影響を持ち、集団で温存できる他のカテゴリーとは全くレースの性質が異なり、レース勘や爆発的なスピード、集団走行での攻撃技術が必要となる。そして主要各国は例年の代表メンバーとは違い、6～9名の出場枠に平坦のスピードパワー系の選手とエースプリンターを選出し参加している。日本チームは与えられた3名枠に対し、レースの特殊性を考慮しつつ論議を重ねた結果、適応し得る新城と別府の2名のみを選出してレースに臨んだ。

レースは序盤スローペースの中、主要国外の7名が飛び出し、40km地点では早くも10分以上先行する状況となる。風向きが変わる72km地点で集団は一気に加速し、いくつものグループに分断された。先頭グループはイギリス、ベルギー、オランダを主体に25名前後に絞られ、時速60km/h前後の高速で周回コースへと進む。新城と別府は数十秒遅れの間隔で追いかける第2グループに位置している。約150kmを走り周回コースへ入る頃には、逃げグループを吸収して30名ほどになった先頭グループと、新城が残る後続グループの差は1分以上になり、別府は第2グループの分断により約2分遅れの第3グループに後退し

らスイスの選手がアタック。與那嶺と合流して、ラスト60kmあたりまで2人で逃げる。そこから集団は1つになり、攻撃がかかってハイペースで進むが、梶原が危険な逃げに対して反応できる集団前方の位置で対応する。アメリカが単独で逃げるが、リードを40秒までしか許さない。集団は高速になる時間が多くなり、平坦のコースであるが脚のない選手は遅れていく。集団はプリンターのWILD KRISTENを擁するオランダが、全員でコントロールして集団スプリントに備える。日本チームも後半は與那嶺と梶原が、集団内でスプリントの期待できる吉川を守る。ラスト周回はオランダトレインが機能し、ほかのチームはもう何もできない。吉川はゴール前では単騎となり中切れを埋めながらスプリントするが、集団スプリントに絡めず21位に終わった。ジュニア時代に世界選手権ロードで2年連続優勝したデンマークのDIDERIKSEN AMALIEが、エリート2年目で優勝した。

(以上 柿木 孝之)



エリート女子のスタート

エリート男子の2人



エリート男子の別府



エリート男子の新城



ていた。周回コースでは5名を乗せたベルギーを中心に、有力選手とその牽引役を多数有する先頭グループがペースをコントロールし、第2グループの追い上げを完全に封じ込めた。優勝争いは先頭グループでのスプリント勝負となり、スロバキアのサガンが2年連続の世界チャンピオンとなった。新城は第2グループで35位、別府は大きな第3集団に位置していたが、審判判断でラスト30kmでグループごとレースから除外され途中棄権となった。197人が出走した丘ひとつ無い平坦レースながら、完走は僅か53人という厳しいレース。特に中盤の殺し合いのような展開の中、9名体勢の主力国らの隙間をこじ開け、前方で奮闘した新城と別府であったが、同じく少数体勢で参加しながらも、先頭グループに残り優勝した、スロバキアのサガンのようには行かなかった。来年の世界

選手権は北欧のノルウェーで開催される。厳しい山岳コースではないが、短い登り坂でのパワーと反復持久力、そして雨や気温の低下など、急激な気象状況の変化に対応できる能力が必要となるだろう。(浅田 顕)

【競技結果】

UCI 世界選手権大会-ロードレース
2016/10/9-16 カタル/ドーハ

男子ジュニア タイムトライアル (28.9km)

- | | | | |
|----|-----------------|----------|----------|
| 1 | MCNULTY Brandon | USA | 34:42.29 |
| 2 | BJERG Mikkel | DEN | 35:17.47 |
| 3 | GARISSON Ian | USA | 35:35.37 |
| 62 | 渡邊 歩 | 福島 EQADS | 40:02.42 |
| 72 | 沢田桂太郎 | 宮城 日本大学 | 41:26.62 |

女子リト タイムトライアル (28.9km)

- | | | | |
|----|----------------|-----------|----------|
| 1 | NEBEN Amber | USA | 36:37.04 |
| 2 | VAN DIJK Ellen | NED | 36:43.03 |
| 3 | GARFOOT Katrin | AUS | 36:45.36 |
| 21 | 與那嶺恵理 | 茨城 POITOU | 39:38.83 |

女子ジュニア タイムトライアル (13.7km)

- | | | | |
|----|------------------|---------|----------|
| 1 | SWINKELS Karlijn | NED | 18:21.77 |
| 2 | MORZENTI Lisa | ITA | 18:29.12 |
| 3 | JULIETTE Labous | FRA | 18:43.12 |
| 35 | 下山美寿々 | 大坂 大阪教附 | 20:59.55 |

男子リト ロードレース (257.3km)

- | | | | |
|----|----------------|-----------------|---------|
| 1 | SAGAN Peter | SVK | 5:40:43 |
| 2 | CAVENDISH Mark | GBR | 5:40:43 |
| 3 | BOONEN Tom | BEL | 5:40:43 |
| 35 | 新城 幸也 | JPCA ランプレタ | 5:46:09 |
| | 別府 史之 | JPCA トレックセガフレット | DNF |

男子ジュニア ロードレース (135.3km)

- | | | | |
|----|--------------|----------|---------|
| 1 | EGHOLM Jakob | DEN | 2:58:19 |
| 2 | MARKL Niklas | GER | 2:58:26 |
| 3 | MULLER Reto | SUI | 2:58:26 |
| 42 | 嶋崎 優仁 | 静岡 伊豆総合高 | 3:00:04 |
| 60 | 渡邊 歩 | 福島 EQADS | 3:00:04 |
| 62 | 重満 丈 | 沖縄 北中城高校 | 3:00:04 |
| | 沢田桂太郎 | 宮城 日本大学 | DNF |

女子リト ロードレース (134.1km)

- | | | | |
|----|-------------------|----------------|---------|
| 1 | DIDERIKSEN Amalie | DEN | 3:10:27 |
| 2 | WILD Kirsten | NED | 3:10:27 |
| 3 | LEPISTO Lotta | FIN | 3:10:27 |
| 21 | 吉川 美穂 | 和歌山 LiveGarden | 3:10:31 |
| 64 | 梶原 悠未 | 埼玉 筑波大学 | 3:10:45 |
| 86 | 與那嶺恵理 | 茨城 POITOU | 3:11:12 |

女子ジュニア ロードレース (74.5km)

- | | | | |
|----|------------------|----------|---------|
| 1 | BALSAMO Elisa | ITA | 1:53:04 |
| 2 | SCHNEIDER Skylar | USA | 1:53:04 |
| 3 | ANDERSEN Susanne | NOR | 1:53:04 |
| 35 | 細谷 夢菜 | 埼玉 浦和工業高 | 1:53:04 |
| 70 | 下山美寿々 | 大坂 大阪教育附 | 2:03:06 |





新城のフィニッシュ

2016 ROAD WORLD CHAMPIONSHIPS



世界選ロード男子エリート2連覇のサガン

< JCF オフィシャル・スポンサー >



< オフィシャル・サプライヤー >



シクリスムエコー No.221 2016年10・11月号

発行/公益財団法人 日本自転車競技連盟
 発行人/橋本 聖子
 編集人/坂井田 米治
 編集事務局/公益財団法人 日本自転車競技連盟 事務局
 〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-1 自転車総合ビル 5F
 TEL 03-6277-2690 FAX 03-6277-2691 <http://www.jcf.or.jp/>

